

# 「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ2025」(夏休み版) 集計結果

「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ2025」(夏休み版)に取り組んでいただき、誠にありがとうございました。本年は、市内小学校5校(留守家庭児童会室を除く)、合計371名の児童にご参加いただきました。大変お忙しい中、多くのご協力誠にありがとうございました。

4年生	6年生	留守家庭児童会室	合計
284人	74人	13人	371人

デジタル版または紙媒体を選択して、実施していただきました。それぞれの内訳は以下のとおりです。

デジタル版	紙媒体	合計
4校	1校	5校

このつうしんぼでは、エコに関する3つの取り組みを行い、その達成度に応じてエコポイントをためることができます。

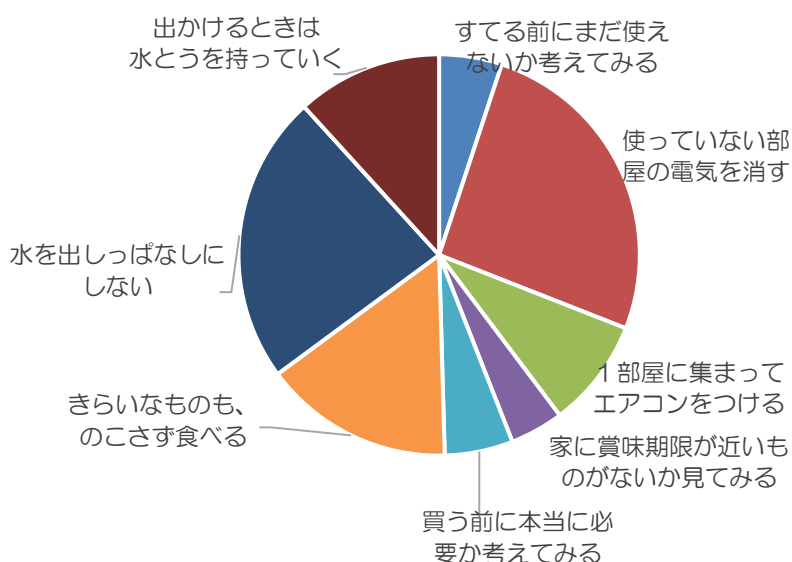
それぞれの取り組みの結果は、以下のとおりとなりました。

## 1. わたしたちにできる エコライフ

毎日の生活の中でできる「エコライフ」を2つ選び、10日間続けられるかチャレンジをしてもらいました。

皆さんが選んだ「チャレンジしたいエコライフ」の内訳は以下のとおりです。

※選択なし、3項目以上選択している回答を含みます。



すてる前にまだ使えないか考えてみる	34 (5%)
使っていない部屋の電気を消す	174 (26%)
1部屋に集まってエアコンをつける	59 (9%)
家に賞味期限が近いものがないか見てみる	29 (4%)
買う前に本当に必要か考えてみる	37 (6%)
きれいなものも、のこさず食べる	103 (15%)
水を出しっぱなしにしない	157 (23%)
出かけるときは水とうを持っていく	79 (12%)

続けられたエコライフ1つにつき、エコポイントが3ポイントたまります。

皆さんがためたエコポイントの獲得数は、以下のとおりでした。

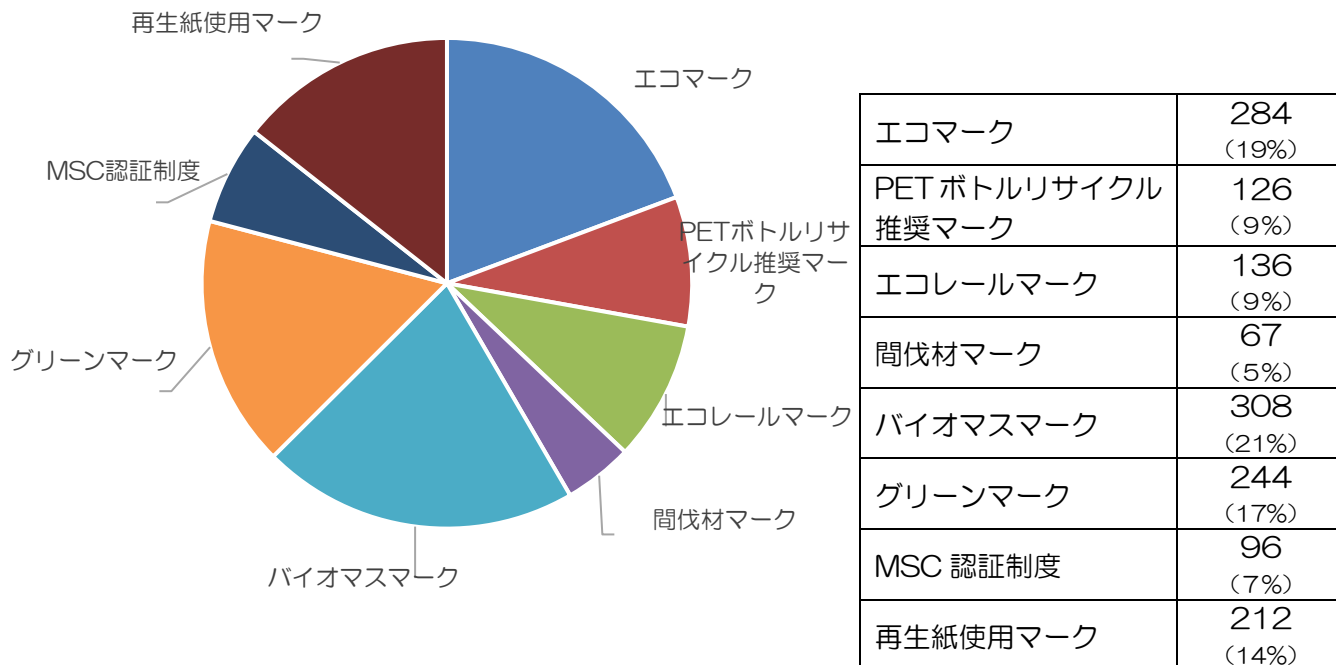
獲得数(ポイント)	0~20	21~40	41~60
人数(人)	42	80	249

## 2. 「環境ラベル」をさがそう

家や学校にあるものなど、身の回りにある「環境ラベル」を探してもらいました。

皆さんが見つけた「環境ラベル」は、以下のとおりです。

※見つけた環境ラベルとエコポイントが合致しない回答を含みます。



見つけた環境ラベル1つにつき、エコポイントが4ポイントたまります。

皆さんがためたエコポイントの獲得数は、以下のとおりでした。

獲得数(ポイント)	0	4	8	12	16	20	24
人数(人)	6	35	43	66	79	66	36

獲得数(ポイント)	28	32
人数(人)	21	19

### 3. SDGsのために できること

17 個ある SDGs の目標。この取り組みでは、15 番目の目標「陸の豊かさを守ろう」について考えてもらうため、ホッキョクグマ、シマフクロウ、アオウミガメが絶滅危惧種になっている理由を調べてもらいました。

#### ○ホッキョクグマ

- ・地球温暖化を中心とした気候変動によって、ホッキョクグマが生活する海氷の減少や、主なエサとなるアザラシの個体数減少なども原因のひとつです。
- ・地球温暖化で氷が減ったから
- ・ホッキョクグマの住む場所が暑さ(地球温暖化)によって海氷が溶けてしまうから
- ・地球温暖化で北極の氷が溶けて住む場所がなくなっているから
- ・地球温暖化などの気候変動のえいきょうによって海氷がへり、エサとなるアザラシの数が少なくなっています。えさであるアザラシを十分に食べられなくなり、死んでしまうことがふえています。

#### ○シマフクロウ

- ・シマフクロウは、森林伐採や河川改修による生息地の減少、餌となる魚の減少、人間活動による影きょうなど、様々な要因によって絶滅危惧種となっています。
- ・生息地が減って森の木が少なくなって巣が少なくなり河川改修により、餌となる魚が減ってそれでシマフクロウが減ったと考えられています。
- ・住みかとなる森林の伐採や、河川改修により餌である魚が減少した
- ・気候変動など生息地そして人間の活動による影響

#### ○アオウミガメ

- ・①砂浜の減少 ②漁業による混獲 ③食用や装飾品目的での乱獲のためです。
- ・クラゲと間違えて、ビニール袋を食べてしまう。
- ・海が汚れてしまったことや、産卵地となる砂浜の減少など
- ・産卵場所や、ごはんがなくなっているから。
- ・乱獲。過去には食用や飾りのためにアオウミガメが大量に捕獲されていました。その過度な捕獲により絶滅危惧種に指定されました。
- ・人間が道路や港、たて物などを作るのでたまごをうむ場所が少なくなっている。
- ・プラゴミに絡まってしまう。

見つけた環境ラベル 1 つにつき、エコポイントが 5 ポイントたまります。

皆さんがためたエコポイントは、以下のとおりでした。

※調べた動物の数とエコポイントが合致しない回答を含みます。

獲得数(ポイント)	0	5	10	15
人数(人)	10	268	43	50

#### 4. 「エコポイント」の合計

3つの取り組みで集めたエコポイントの合計は、以下のとおりでした。

獲得数（ポイント）	0～20	21～40	41～60	61～80	81～100	101以上
人数（人）	10	29	72	150	92	18

#### 5. 感想コーナー

エコライフつうしんぼを取り組んで、寄せられた感想を一部紹介します

「わたしたちにできる エコライフ」について

- 次から電気がついていたら消します。
- できたエコライフが一個だけしかできなかったものがありました。なので、これからもやっていきたいです。そしていつか地球が綺麗になって幸せに暮らせるようにして行きたいです。
- わたしは、ふだんから水をこまめにとめています。それがとても大事であることをまなべました。そのほかにも、でんきをこまめに消すなども必要であると教えてもらいました。小さいことではあるとおもいますが、そのつみかさねが大きなエコ活動になるときずけました。

『環境ラベル』をさがそうについて

- 環境ラベルがいっぱいあるのがびっくりした
- 環境ラベルを探す時、食べ物とか鉛筆とか意外と身の回りであって驚きました。他にも環境ラベルを探してみたいなと思いました。

「SDGsのために できること」について

- 絶滅危惧種についていろいろ知れて良かったよ。
- 絶滅危惧種になっている動物とかが今病気とか人間が住む場所を無くして言っているということをしかりと知ったので、絶滅危惧種の動物を少しでも減らしていきたいなと思いました。

その他

- 前よりももっと SDGs のことやエコライフのことを意識するようになって、家でも電気を消したり食品ロスを減らせられたかなと思います。環境ラベルは 4 個しか見つけられなかったけれど、見つけられなかった環境ラベルもこれからの生活で見つけていきたいと思いました。
- これからも地球の自然を守りたいと思いました。今度はみんなで取り組んでみたいです
- 楽しかったからまたやろうと思う
- 少しはエコを試してみんなのためエコのためどうぶつためになったかなとおもいました。
- SDGs のためにできることを考えて、実際に行動に移すことができた。行動してみて、より SDGs が大切だということがわかった気がした。
- 物を大切にしたり、電気代を気にしたり、身近なことを考えるだけでもエコライフになると分かった。

この他にも、たくさんの感想をいただきました。お取り組みいただき、ありがとうございました。